

チョン・ムンホ ソウル市消防災難本部長官による議長総括及び閉会挨拶
(2017 年 11 月 6 日、於ソウル市庁舎)

皆様、会議の最後までご同席頂きありがとうございます。

我々は様々な環境の変化にさらされており、開会挨拶でも触れましたとおり、気候変動に伴う事象が発生するとともに、都市化、急速な高齢化による災害リスクが高まっています。

また、我々はIoT、ビッグデータといった技術革新にも直面しており、こうした科学的対応は我々が応えるべき任務です。異常な気象現象と高齢化は、いずれも我々にとって重大な課題です。それら課題は、危機管理当局を担う者として、我々が乗り越えなければならないものです。そのためには、科学的・技術的な打開策が必要になります。より良いリスク管理のため、こうした科学発展の活用は必須です。しかしもちろん必要になるのはそれだけではありません。

皆様のプレゼンテーションを拝聴しながら、経験を共有すること、互いに協力すること、異なる分野であっても関係機関と連携することの必要性に思い至りました。危機管理を考える時、非常に重要な点であり、今回の会議を通して我々が情報交換を行えたこと、それこそが重要なことなのです。というのも、より良いリスク要因の評価が可能になるからです。そして、こうした機会によって危機や災害を乗り越えるためのシステムについて、より良い着想を得ることができるからです。

情報交換は 課題に直面している中では特に重要であり、危機管理会議は我々が課題を解決するための助けとなることを確信しています。我々の眼前には、人々の生命と幸福を脅かす多くの課題が横たわっていますが、我々ネットワーク参加都市がともに注力し、同じ目的に向かって立ち向かえば、必ずやこれらの課題を乗り越え、世界を安心できる場所、より良く、より繁栄した場所にすることができると信じています。

経験や懸念、そして未来について共有くださった9都市の発表者の皆様に改めて御礼申し上げます。また、ソウルにお越しくくださった皆様、特に海外からはるばる参加くださった東京、台北、新北、ジャカルタ、クアラルンプール、シンガポール、ロンドン、ブリュッセルの皆様に御礼申し上げます。

今回を契機に、皆様との友好と協力の絆がより深まり、強いものとなることを祈念し、本年の危機管理会議を閉会したいと思います。

ありがとうございました。